



令和元年 6 月 25 日

平成 30 年 7 月豪雨災害から 1 年を迎えるにあたり
豪雨災害調査団 公開最終報告会を開催します

広島大学は、「平成 30 年 7 月豪雨災害」発災直後の、平成 30 年 7 月 11 日に、広島大学長を団長とした「広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団」を設置し、活動を行なってきました。

来月 6 日に豪雨災害から 1 年を迎えるにあたり、豪雨災害調査団のこれまでの活動を総括するため、最終報告会を 7 月 5 日に広島大学東千田キャンパスにおいて開催いたします。

豪雨災害調査団では、学内の防災研究分野の専門家の力を集結して、土石流・斜面災害、水文気象・洪水・氾濫、生活インフラ被害、公衆衛生・災害医療などについて専門的見地から調査に取り組んでいます。

日時：令和元年 7 月 5 日（金）13:30～15:00

場所：広島大学東千田キャンパス未来創生センター M202 講義室
（〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号）

出席者：

藤原章正（国際協力研究科教授／副団長、生活インフラ被害班長）

土田 孝（防災・減災研究センター長／土石流・斜面災害班長）

海堀正博（総合科学研究科教授／土石流・斜面災害班）

河原能久（工学研究科教授／水文気象・洪水・氾濫班長）

大毛宏喜（病院副病院長／公衆衛生・医療班長）

内容：

豪雨災害調査団 1 年の活動まとめ

調査研究報告（各班）

質疑応答

【お問い合わせ先】

社会産学連携室

社会産学連携グループ 三戸

TEL:082-424-5871